

小さな島のいきものたちは、非常に弱い存在です。わたしたちの行動が、知らず知らずのうちにいきものたちを脅かさないように、心づかいをおねがいします。

コウモリたちに やさしい心づかいを おねがいます



リュウキュウユビナガコウモリ



ヤエヤマコキクガシラコウモリ



カグラコウモリ

島には、ヤエヤマコキクガシラコウモリ、カグラコウモリ、リュウキュウユビナガコウモリなどの小型のコウモリがいます。これらの小型コウモリは、西表島などの限られた島でしかみることができない希少ない生き物です。

昼間は集団をつかって洞窟の中で休んでいます。
とても敏感な生きものなので、わたしたちのちょっとした行動が
大きな影響をあたえてしまうことがあります。
つぎのような心づかいをおねがいします。

洞窟ではコウモリをおどかさないように
洞窟に入ったときにコウモリがいるのを見かけたら、大声をあげたり、ライトをあてたりしないようにしましょう。ガイドさんがいるときには、その指示にしたがいましょう。何度もくりかえすと、その洞窟からいなくなってしまう。



コウモリがいる洞窟には入らない
コウモリがいることがわかったら、できるだけその洞窟には入らないようにしましょう。人の気配にとっても敏感なので、洞窟に人が入ることがストレスになります。とくに、大人数で何度も入ると、その洞窟からいなくなってしまう。

洞窟に入らなくても
洞窟の中に入らなくても、バットディテクターという装置をつかえばコウモリが発する超音波をきくことができます。こうした装置がないかガイドさんにきいてみましょう。



島にはオオコウモリもいるよ
ヤエヤマオオコウモリはカラスくらいの大きなコウモリで、集落の中にも飛んでくるので、すぐ近くで観察できます。ガイドさんと一緒に適切な方法で観察しましょう。

とくに大切な時季、とくに大切な洞窟があります

- 出産や子育てをする5～7月には、コウモリたちは非常に敏感になっており、ストレスを感じると早産したり子育てをやめてしまうこともあります。
- 出産や子育ては特定の洞窟でおこないます。こうした洞窟は数が限られているので、一つでもだめになると、かわりが見つけられないこともあります。
- 出産や子育ての時期には、こうした洞窟には近づかないようにしましょう。